

◎新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当事業にかかる効果検証(令和3年度計画事業)

計画No.	事業名	事業概要	交付金充当額	効果検証		担当課
				実績(定量的指標)	事業所管課における評価	
1	避難所における新型コロナウイルス感染症予防対策事業	①避難所における感染予防及び衛生環境を保つため、ワンタッチパーテーション等の物資を避難所に備蓄する。 ②避難所用備品購入費 ③スポットクーラー3,356千円(239,700円×14台)、カセットガストーブ360千円(22,440円×16台)、カセットガス発電機805千円(114,950円×7台)、ワンタッチパーテーション4,538千円(27,500円×165台) ④指定避難所10か所、福祉避難所5か所など	7,630,150円	スポットクーラー2,146,760円(153,340円×14台) カセットガストーブ359,040円(22,440円×16台) カセットガス発電機677,600円(96,800円×7台) ワンタッチパーテーション4,446,750円(26,950円×165組)	避難所における新型コロナウイルス感染症対策として避難所用備品を購入したことにより、災害時に備えて各避難所での感染症対策を行えるとともに、災害用備蓄物資の拡充を図ることができた。	防災安全課
2	防災アプリの導入による情報伝達手段の多様化推進事業	①防災アプリの導入により感染症流行期における情報伝達手段の多様化を図る。 ②複数メディア連携サーバー設定委託料 ③複数メディア連携サーバー設定委託料1,166千円 ④市民(スマートフォンを所有し、防災アプリをDLした方)	1,056,000円	複数メディア連携サーバー設定委託料 1,056,000円	防災行政無線室内に設置されている防災行政無線親局設備用複数メディア連携サーバーを設置し、「Yahoo!防災速報アプリ」で受信する防災アプリを導入することで感染症流行期に受信者に対し、情報伝達手段の拡充を図ることができた。	防災安全課
3	キャッシュレス決済推進事業	①事業者のキャッシュレス決済導入を推進するため、市内でのキャッシュレス決済利用時に付与される還元ポイントに上乗せをするキャンペーンを行うことで、市内経済の活性化と接触機会の低減による感染症対策の両立を図る。 ②ポイント還元率(ポイント還元率30%、一回当たり還元上限額3,000円、期間内上限額10,000円、実施期間1ヶ月)及び事業事務費 ③ポイント還元費43,164千円、事業事務費(事業運営費、PRツール作成費など)3,668千円 ④市内事業者、市民	6,652,177円	実施期間:12/1~12/26 付与上限:3,000ポイント/回、10,000ポイント/回 還元率:30%	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により落ち込んだ市内経済の活性化と「新しい日常」における市内事業者のキャッシュレス決済の導入促進を目的として、羽村市商工会が実施する生活応援事業に対して補助することにより、地域経済の回復を支援した。 【実績】 PayPayポイント還元分:23,659,682円 商工会事務経費分:2,859,495円 ※東京都補助金(事業費補助金:17,744千円、事務費補助金2,123千円)以外を充当	産業振興課
4	事業者応援事業助成金	①新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、経済活動に影響を受けている羽村市内の法人及び個人事業主の方の事業継続と従業員の雇用継続を支援するため、「羽村市事業者応援事業助成金」を交付する。(昨年度から実施している羽村市緊急支援助成金事業を拡充し、対象要件等を広げる) ただし、羽村市緊急支援助成金の交付を受けているものを除く ②個人事業主から大規模事業者まで資本金等の額や市内従業員に応じて10万円から50万円を給付するための経費 ③個人事業主100,000円×227件=22,700,000円 法人 200,000円×165件=33,000,000円 法人 300,000円×10件=3,000,000円 法人 400,000円×4件=1,600,000円 法人 500,000円×4件=2,000,000円 その他事務経費100千円(需用費60千円、使用料及び賃借料25千円、役員費15千円) ④市内事業者 ※その他事務経費として、需用費60千円、使用料及び賃借料25千円、役員費15千円を計上する。	50,622,502円	助成実績:436件(個人:251件、法人185件)	事業の継続と従業員の雇用継続のため、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により経済活動に影響を受けている市内の事業者を支援した。 【実績】 助成実績:62,300,000円 《助成要件》市内に事業所を有する個人事業主及び法人で、令和3年1月から12月のいずれかの月において、1カ月当たりの売上高の減少率が直近の確定申告を行った事業年度の同月比で10%以上であること。 《助成金額》 個人事業主:10万円 法人:20万円~50万円(資本金等の額により変動)	産業振興課
5	清掃業務持続化助成事業	①新型コロナウイルス感染症の感染リスクが高い清掃業務の委託事業者に対して、マスク・消毒液等の衛生管理用品の購入にかかる経費を助成することで、感染リスクを低減し、市民生活に不可欠となる清掃業務の継続を支援する。 ②衛生管理経費等に対する助成金 ③マスク・消毒液等の衛生管理経費1社あたり年間平均250千円×4社(収集3業者+処理1業者)=1,000千円 ④廃棄物収集及び処理委託事業者	1,000,000円	収集業者3社:1社250,000円 処理委託業者1社250,000円	感染対策に必要なマスク・消毒液等の衛生管理用品の購入されたことで、感染リスクの高い清掃業務委託事業者の感染リスクを低減し、清掃業務を継続的に実施することができた。	生活環境課
6	フレイル予防「敬老の日」記念品配付事業	①敬老事業の一環として、9月に羽村市商業協同組合加盟店で利用することができる商品券を、75歳以上の市民へお贈りすることで、買い物を通じた「体を動かす機会」「社会とつながる機会」を提供し、高齢者を敬い長寿を祝うとともに、フレイル予防、市内商業の活性化につなげることを目的とする。 ※商品券、1人当たり2,000円(500円分×4枚)、フレイル予防に関するチラシ等を同封する。 ※令和2年度執行率 89.4% ②羽村市商業協同組合商品券購入費等 ③商品券2,000円×8,134人=16,268千円、郵送料等事務経費2,137千円 ④75歳以上市民8,134人(4月1日現在見込)	16,510,047円	記念品14,378,500円(500円券×28,757枚) 消耗品127,632円 印刷製本費144,342円 郵便料1,859,573円  配付人数7,981人 配布枚数31,924枚	商品券の使用実績が90.1%と高く、コロナ禍で外出自粛が続く高齢者のフレイル予防と市内商業の活性化を図ることができた。	高齢福祉介護課
7	子ども・子育て支援交付金	①保育所等において、感染症対策を徹底しつつ、事業を継続していく体制を整える。 ②職員が感染症対策の徹底を図りながら保育を継続的に実施していくために必要な経費(かかり増し経費・研修受講)、マスクや消毒液、感染防止用の備品購入等にかかる経費 ③【延長保育事業】利用定員20人以上59人以下:200千円×1か所、利用定員60人以上:250千円×12か所 【一時預かり事業】300千円×8か所 【病児保育事業】300千円×2か所 ④市内認可保育園、認証保育所、認定こども園等	1,967,220円	延長保育事業実施園13園 3,199,220円 一時預かり事業実施園7園 2,100,000円 病児・病後児保育実施施設2施設 600,000円	感染症対策に必要な消毒液、マスク、パーテーションや空気清浄機などを購入することが可能になったことで、感染症流行下においても児童の預かりを継続して実施することができ、また感染症の拡大を最小限に抑えることができた。	子育て支援課
8	教育支援体制整備事業費交付金	①幼稚園等において、感染症対策を徹底しつつ、事業を継続していく体制を整える。 ②職員が感染症対策の徹底を図りながら教育・保育を継続的に実施していくために必要な経費(かかり増し経費・研修受講)、マスクや消毒液、感染防止用の備品購入等にかかる経費 ③500千円×7か所 ④市内幼稚園(幼稚園型認定こども園を含む)	1,338,285円	幼稚園7園 2,671,285円	感染症対策に必要な消毒液、マスク、パーテーションや空気清浄機などを購入することが可能になったことで、感染症流行下においても児童の預かりを継続して実施することができ、また感染症の拡大を最小限に抑えることができた。	子育て支援課
9	保育対策事業費補助金	①保育所等において、感染症対策を徹底しつつ、事業を継続していく体制を整える。 ②職員が感染症対策の徹底を図りながら保育を継続的に実施していくために必要な経費(かかり増し経費・研修受講)、マスクや消毒液、感染防止用の備品購入等にかかる経費 ③【認可保育所】利用定員20人以上59人以下:400千円×1か所、利用定員60人以上:500千円×11か所 【幼保連携型認定こども園】500千円×1か所 【地域型保育事業所】利用定員19人以下:300千円×2か所、利用定員20人以上59人以下:400千円×3か所 【認可外保育施設】利用定員20人以上59人以下:400千円×3か所 ④市内認可保育園、認証保育所、認定こども園等	4,005,659円	認可保育所12園 5,833,059円 幼保連携型認定こども園 500,000円 家庭的保育事業者2者 541,700円 認証保育所3園 1,135,900円	感染症対策に必要な消毒液、マスク、パーテーションや空気清浄機などを購入することが可能になったことで、感染症流行下においても児童の預かりを継続して実施することができ、また感染症の拡大を最小限に抑えることができた。	子育て支援課
10	副食費の還付に対する助成事業	①保育施設で新型コロナウイルス感染症患者が発生し臨時休園した場合に、3~5歳児の副食費を日割りで還付する園に対して還付相当額を助成する。 ②新型コロナウイルス感染症患者が発生し、臨時休園した場合に、3~5歳児の副食費を日割りで還付する園に対する還付相当額の助成金 ③日割り額180円×75人×14日×3園=567千円 ④市内認可保育園、認定こども園、認証保育所	0円	実績なし	助成対象となる施設がなく予算執行はなかったが、予算を確保し、万が一臨時休園になった場合の支援体制を構築したことで、各施設が安心して児童を保育できる環境整備に資することが出来たと考えている。	子育て支援課
11	子ども・子育て支援交付金	①利用者支援事業の実施における感染症対策の徹底と事業の継続実施 ②需用費(消耗品費)消毒液・マスク等 ③手指消毒液150千円(1,700円×80本)、施設内消毒液141千円(1,280円×100本)、マスク9千円(1,500円×5箱) ④職員、対象施設	98,732円	マスク、消毒液(施設用・手指用)ハンドソープ等やパーテーションを購入し使用。 98,732円	マスクや消毒液等およびパーテーションを使用したことにより、十分な感染症対策を講じた上で事業実施ができた。	子育て相談課
12	子ども・子育て支援交付金	①養育支援訪問事業の実施における感染症対策の徹底と事業の継続実施 ②需用費(消耗品費)消毒液・マスク・手袋等 ③手指消毒液131千円(1,700円×70本)、携帯用手指消毒液18千円(635円×25本)、施設内消毒液141千円(1,280円×100本)、マスク9千円(1,500円×5箱)、プラスチック手袋1千円(348円×2箱) ④職員、対象施設	88,866円	マスク、消毒液(施設用・手指用)ハンドソープ、プラスチック手袋等を配布(3か所の委託事業者) 88,866円	養育支援訪問の委託事業者に対してマスクや消毒液等を配布したことで、十分な感染症対策を講じた上でヘルパー派遣事業を実施することができた。	子育て相談課

計画No.	事業名	事業概要	交付金充当額	効果検証		担当課
				実績(定量的指標)	事業所管課における評価	
13	子ども・子育て支援交付金	①地域子育て支援拠点事業の実施における感染症対策の徹底と事業の継続実施 ②需用費(消耗品費)消毒薬・マスク・手袋等、負担金、補助及び交付金(補助・助成金) ③手指消毒薬449千円(1,700円×240本)、施設内消毒薬422千円(1,280円×300本)、マスク15千円(1,500円×9箱)、プラスチック手袋14千円(348円×36箱)、地域子育て支援拠点への感染予防対策補助金600千円(300,000円×2園) ④施設利用者、職員、対象施設	473,126円	マスク、消毒薬(施設用・手指用)ハンドソープ、プラスチック手袋等やパーテーションを配布。また委託先の保育園においては、感染症対策業務を実施する職員を雇用(3か所の児童館・委事業委託をする保育園2園)473,126円	地域子育て支援拠点事業コロナウイルス感染症対策としてマスクや消毒等を配布し、またパーテーション等の感染予防器具を購入した。また併せて、保育園においては、感染症対策業務を行う職員を雇用し対応したことで、十分な感染症対策を講じた上での子育て相談や子育て支援事業を実施することができた。	子育て相談課
14	子ども・子育て支援交付金	①ファミリー・サポート・センター事業の実施における感染症対策の徹底と事業の継続実施 ②需用費(消耗品費)消毒薬・マスク・手袋等 ③手指消毒薬131千円(1,700円×70本)、携帯用手指消毒薬18千円(635円×25本)、施設内消毒薬141千円(1,280円×100本)、マスク9千円(1,500円×5箱)、プラスチック手袋1千円(348円×2箱) ④職員、協力会員、対象施設	89,405円	マスク、消毒薬(施設用・手指用)ハンドソープ、プラスチック手袋等配布(1か所の委託事業者)89,405円	ファミリー・サポート・センター事業の委託事業者に対して新型コロナウイルス感染症対策としてマスクや消毒等を配布したことで、十分な感染症対策を講じた上でのサービス提供を実施することができた。	子育て相談課
15	子ども・子育て支援交付金	①新型コロナウイルス感染症の影響により、外出を控えている妊娠中の方や子育て中の方が、自宅で安心して相談が受けられるよう「オンライン相談」や「オンラインカフェ」を実施する。 ②報酬(相談業務等助産師報酬)、その他(インターネット接続料、Web会議システム利用料) ③インターネット接続料53千円(月額3,982円×12月×1.1)、Web会議システム利用料28千円、オンライン相談助産師報酬100千円(1回2,760円×3h×月1回×12回)、母親学級オンラインカフェ助産師報酬50千円(2,760円×3h×年6回) ④事業利用者	71,136円	インターネット接続料、Web会議システム利用料、相談員報酬71,136円	コロナ禍により外出を控えている妊娠中の方や子育て中の方が、自宅で安心して保健指導などの相談を受けることができるように、Zoomを活用したオンライン相談を実施したことで、外出の抑制が図られるとともに、妊産婦の方の感染症対策を行うことができた。	子育て相談課
16	子ども・子育て支援交付金	①新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、学童クラブに消毒液等を購入し感染症対策を徹底しながら、児童の感染防止を図る。 ②衛生用消耗品 ③300千円×1支援、400千円×17支援 ④市内学童クラブ 18支援	2,351,844円	学童クラブ経費 7,051,844円	感染症対策に必要な消毒液、マスク、パーテーションやサーキュレーターなどを購入することが可能になったことで、感染症流行下において児童の預かりを継続して実施することができ、また、感染症の拡大を最小限に抑えることができた。	子育て支援課
17	公共トイレ等安全・安心確保事業	①公共空間での感染機会を削減するため、市で管理している公園のトイレの手洗いを自動水栓に変更する。 ②市内公園トイレの自動水栓化工事 ③センサー式自動水栓一式4,400千円(33基(富士見公園10基、武蔵野公園2基、あさひ公園5基、宮の下運動公園2基、神明台公園2基、天竺運動公園2基、川崎公園2基、しらかば児童公園3基、やまぶき児童公園3基、くすのき児童公園2基)) ④市内10公園	4,030,100円	トイレ手洗い用水栓改修工事11公園33カ所(武蔵野公園2カ所、あさひ公園5カ所、富士見公園10カ所、神明台公園2カ所、やまぶき児童公園2カ所、あしか児童公園1カ所、しらかば児童公園3カ所、くすのき児童公園3カ所、川崎公園2カ所、宮の下運動公園2カ所、天竺運動公園1カ所)4,030,100円	利用頻度の高い公共トイレに非接触型自動水栓の導入したことにより、接触の機会を減らし新型コロナウイルス感染症の感染対策を行うことができた。	土木課
18	羽村市図書館換気設備改修事業	①羽村市図書館の換気設備を更新し、換気性能を強化することにより、公共施設利用者の感染防止対策を強化する。 ②換気設備改修工事費 ③換気設備改修工事一式13,200千円 ④図書館利用者	12,353,000円	図書館換気設備(設備用ロスナイ床置形)4台の更新工事(地下1階機械室1台、2階空調機械置場室3台)12,353,000円	工事により換気設備が改善され、コロナ禍でも安心して図書館を利用することができるなど、新型コロナウイルス感染症対策を講じることができた。	図書館建築課
19	公立学校情報機器整備費補助金	①GIGAスクール構想の推進を目指し学校ICT化を支援する。 ②GIGAスクールサポーター(1名)の配置に伴う業務委託料 ③GIGAスクールサポーター配置支援事業委託料1,710千円(19万円×9ヶ月) ④市教育委員会及び市内小中学校10校	855,000円	GIGAスクールサポーター(1名)の配置に伴う業務委託1,710,000円	コロナ禍においてGIGAスクール構想に基づく1人1台端末を活用した学習活動を円滑に進めるため、GIGAスクールサポーター配置支援事業を実施した。GIGAスクールサポーターを配置することで、「1人1台端末」と「小・中学校における校内通信ネットワークシステム(Wi-Fi)」の利用促進に取り組むことができた。	学校教育課
20	修学旅行等の中止・延期に伴う経費負担	①修学旅行の延期・中止に伴う企画料及びキャンセル料について補助することで、保護者の負担軽減を図る。 ②旅行者者に支払う企画料及びキャンセル料 ③6,143,316円 羽村一中(1回目)187人×5,097円=953,139円、(2回目)187人×5,802円=1,084,974円、(3回目)187人×7,101円=1,327,887円 羽村二中(1回目)182人×5,978円=1,087,996円、(2回目)179人×6,010円=1,075,790円 羽村三中(1回目)90人×6,817円=613,530円 ④生徒、保護者	5,668,710円	修学旅行補助金(延期・中止に伴う企画料分) 羽村一中 2,891,394円 羽村二中 2,263,786円 羽村三中 613,530円	コロナ禍における修学旅行の延期・中止に伴う企画料及びキャンセル料について補助することで、保護者の負担軽減を図ることができた。	学校教育課
21	公共施設使用料減免事業	①施設貸出中止等の利用制限に対し、利用を自粛した団体個人に利用料を全額返還することで、施設利用及び文化活動継続を支援する。 ②過年度分使用料還付金(施設使用料・備品使用料) ③1,850千円(前年度実績還付率を準用した見込み額) ④生涯学習センターゆとろぎ施設利用者	1,849,941円	対象団体・個人 128件 1,849,941円	新型コロナウイルス感染症の影響による施設貸出中止等により使用できなくなった団体・個人に対し、使用料全額の返還や、閉館時間に合わせた夜間区分の50%(夜間区分20時まで貸出)・25%(夜間区分21時まで貸出)を返還することで経済的な支援を行うことができた。	生涯学習推進課
22	文化芸術振興費補助金	①新型コロナウイルス感染症対策のため、既設空調設備の改修を行うことで、施設内空気環境の向上及び空調機能維持を図る。 ②施設修繕料、維持管理委託料 ③空調設備改修工事一式10,652千円(空冷ヒートポンプ修繕 499千円、空調冷水放熱ポンプインバータ交換修繕 495千円、空調高性能フィルター交換修繕3,036千円、空調空冷冷温水同時取出チリングユニットリフレッシュ整備6,564千円、空調チリングユニット試運転助勢業務委託58千円) ④羽村市生涯学習センターゆとろぎ	5,099,100円	総事業費一園補助対象経費=地方単独分(交付金充当額)10,198,100円-5,099,000円=5,099,100円	空調機器の改修を行ったことにより、コロナ禍でも安心して施設を利用することができるなど、新型コロナウイルス感染症対策を講じることができた。	生涯学習推進課建築課
27	学校保健特別対策事業費補助金	(感染症対策等の学校教育活動継続支援事業) ①各学校が感染症対策等を徹底しながら、児童・生徒の学習保障を支援し、学校教育活動の円滑な運営を支援する。 ②事業費1,500千円(内訳:20万円×2校、15万円×6校、10万円×2校) ③備品購入費、需用費(消耗品費) ④市内小中学校10校	750,000円	保健衛生用消耗品費 442,464円 保健衛生用備品費 1,071,861円	アルコール消毒液等の感染症対策消耗品及びパーテーションやクリーナー等の備品を購入したことで感染症対策を徹底した教育環境の提供ができ、教育活動の継続及び児童生徒の学びの保障をすることができた。	学校教育課
28	地域公共交通機関の高度化支援事業	①換気性能や抗菌仕様となっている新たな車両を導入することでコロナ感染を防止するとともに、新車で運行することにより燃料費や修繕費を削減しコミュニティバス運行事業者の経営持続化に資するよう、車両1台分の入替経費を補助するとともに、既存バス車両に抗菌・抗ウイルスコートを実施することでコロナ感染を防止する。 ②コミュニティバス運行事業補助金 ③ディーゼルバス(Poncho)購入経費 1台 24,909千円 既存バス車両の抗菌・抗ウイルスコート 2台 484千円 ④コミュニティバス運行事業者	23,118,000円	・ディーゼルバス購入経費1台: 22,678,000円 ・既存バス車両の抗菌・抗ウイルスコート2台分: 440,000円	換気性能・抗菌性能に優れた新型車両1台の車両購入・入替経費の補助、既存バス車両2台の抗菌・抗ウイルスコートを施す費用を補助したことで、コミュニティバス内での新型コロナウイルス感染症の拡大を防止し、乗客の安心・安全を確保することができた。また、新型車両への入替により燃料費や修繕費の削減となり、コミュニティバス運行事業者の経営持続化に資することができた。 【R3年度乗客数】 161,517名 【R4年度乗客数】 179,264名	都市計画課
29	動物公園空間安全・安心確保事業	①公共空間での感染機会を削減することを目的として指定管理者が自主事業として実施する動物公園売店改修事業へ対して補助金を交付する。 ②公園施設改修補助金 ③指定管理者が自主事業として実施する動物公園売店改修事業に対する補助金(上限額10,000千円) ④羽村市動物公園指定管理者	10,000,000円	動物公園施設改修事業補助金1件: 10,000,000円	コロナ禍において多くの来場者を迎える動物公園の感染対策を強化するため、飲食売店の改修及び飲食スペースのオープン化を図ることで、適正なソーシャルディスタンスを確保し新型コロナウイルス感染症の感染対策を行うことができた。	土木課

計画No.	事業名	事業概要	交付金充当額	効果検証		担当課
				実績(定量的指標)	事業所管課における評価	
30	事業者復活支援事業助成金	<p>①コロナ禍により経済活動の影響を受け、国の「事業復活助成金」に該当しない市内の法人及び個人事業主の方の事業継続と従業員の雇用継続を支援するため「羽村市事業者復活支援事業助成金」を交付する。</p> <p>②個人事業主から大規模事業者まで資本金等の額や市内従業員に応じて10万円から50万円を給付するための経費</p> <p>③個人事業主100,000円×120件=12,000,000円            法人 200,000円×120件=24,000,000円            法人 300,000円×6件=1,800,000円            法人 400,000円×3件=1,200,000円            法人 500,000円×2件=1,000,000円</p> <p>④市内事業者            ※その他事務経費として需用費60千円、使用料及び賃借料25千円、役員費15千円を計上する。</p>	32,613,239円	助成実績:157件:32,513,482円 (個人91件、法人66件) 事務経費:99,757円 消耗品:59,757円、郵便料15,000円、複写機使用料25,000円)	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、経済活動に影響を受け、売上げが減少している市内の法人及び個人事業主に対し、事業継続と事業の立て直しを目的として、事業者支援を実施した。 <b>【実績】</b> 助成額:32,513,482円 (個人13,188,693円、法人19,324,789円) <助成要件>市内に事業所を有する法人及び個人事業主で、令和3年11月から令和4年3月までのいずれかの月の売上高が、平成30年11月から令和3年3月までの任意の同じ月の売上高と比較して10%以上減少していること。 <上限額>個人事業主15万円、法人30万円	産業振興課
31	学校保健特別対策事業費補助金	<p>(学校等における感染症対策等支援事業)</p> <p>①各学校が感染症対策等を徹底しながら、児童・生徒の学びの保障及び学校教育活動の円滑な運営を支援する。</p> <p>②事業費 13,500,000円(小学校9,450千円、中学校4,050千円)</p> <p>③備品購入費9,450千円(小学校6,615千円、中学校2,835千円)及び需用費(消耗品費)4,050千円(小学校2,835千円、中学校1,215千円)</p> <p>④市内小・中学校(10校)</p>	6,731,763円	保健衛生用備品費(小) 6,890,926円 保健衛生用備品費(中) 2,953,356円 保健衛生用消耗品費(小) 2,543,194円 保健衛生用消耗品費(中) 1,076,287円	アルコール消毒液等の感染症対策消耗品及び密集・密接を避けるための備品を購入したことで感染症対策を徹底した教育環境の提供ができ、教育活動の継続及び児童生徒の学びの保障をすることができた。	学校教育課
32	ワクチン接種時におけるタクシー費助成事業	<p>①新型コロナウイルスワクチン集団接種会場への移動手段を有しない高齢者が自宅と集団接種会場への移動にタクシーを利用するにあたり、その費用の一部を補助することにより、高齢者の経済的負担の軽減と円滑な移動支援を行う。</p> <p>②負担金、補助及び交付金、使用料及び手数料</p> <p>③新型コロナウイルスワクチン初回接種高齢者の15%が利用するものと想定し、居住地からタクシー料金を推計・積算。(助成金3,954,000円(1,869人(想定))、タクシー迎車用電話リース料121,220円)</p> <p>④65歳以上のワクチン接種者</p>	3,757,950円	利用人数 2,728人 延利用人数 4,170人 集団接種会場へのタクシー呼出用電話の設置 3,757,950円	集団接種を中心にワクチン接種をすすめた本市においては、自力で集団接種会場へ来場することが難しい高齢者に対して、タクシー費用を助成したことが接種を促す一つの要因となり、高い接種率となったと捉えている。	健康課
<b>交付金充当額合計</b>			<b>200,781,952円</b>			